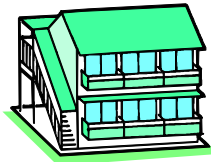


小規模集合住宅対策の実施結果をお知らせします

小規模集合住宅対策とは…

単身者や若年者が多く、ごみの減量や分別に関心が薄いアパート・マンションの集積所を対象に、所有者や管理会社の協力を得て、燃やせるごみの中身の再分別を行い、正しい分別方法を居住者へ啓発する取り組みです。



1 調査概要

- ◆調査対象 : 概ね50世帯以内のマンション・アパート25件（全361世帯）
- ◆回数 : 25件×2回で計50回
- ◆調査方法 : 燃やせるごみを再分別し、分別されていないごみを写真撮影
- ◆啓発方法 : 調査から概ね1か月後に、分別違いのごみの写真と正しい分別方法を記載した印刷物を居住者へ配布

2 実施結果

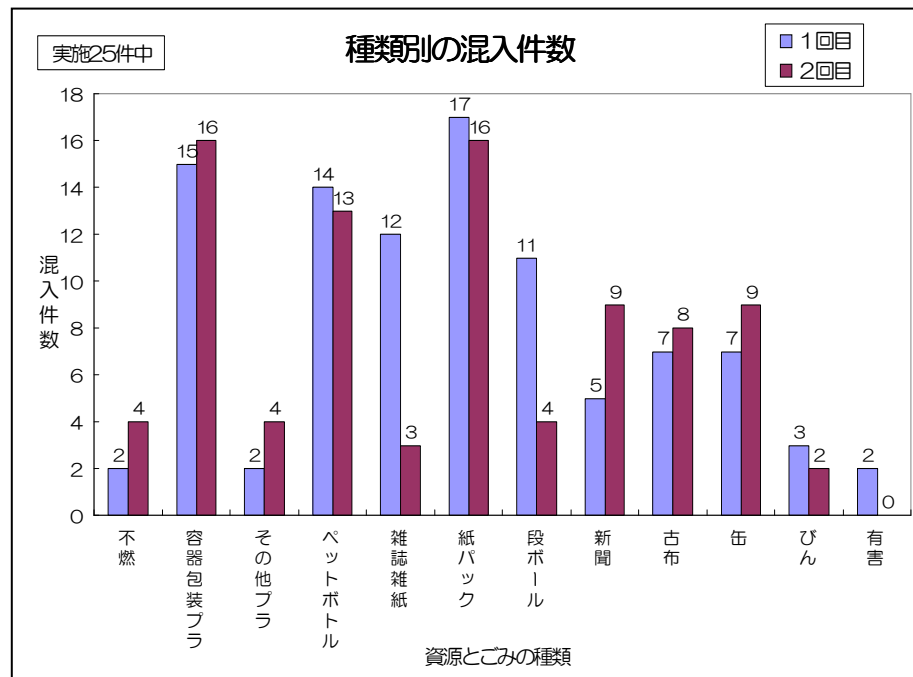
◆1回目、2回目ともに「牛乳等紙パック」、「容器包装プラスチック」、「ペットボトル」が混入件数の多いトップ3となりました。

（右グラフ参照）

⇒よって、この3品目を正しく分別してもらうことが重要になります。

◆平均して、1物件当たり約4種類、分別違いのごみが混入していました。

◆2回目の調査では、25件中12件について、1回目よりも分別違いのごみの混入数が減少し、全体の混入数でも1回目より減少しました。一方で、混入件数が増えた種類もあり、今後は啓発を強化していく必要があります。



3 今後の方針

小規模の集合住宅は多数あることから、平成24年度は、より効果を上げられるよう取り組んでいきます。

立川市環境下水道部ごみ対策課 ☎531-5518

みんなで減らそう 燃やせるごみ減量50%!

2012年2・3月号
(第9号)

西砂からの風

発行/立川市ごみ対策課

せん定枝から作った「たい肥の素」を配布しています

○ せん定枝は「ごみ」ではなく「資源」として生まれかわります

平成15年度より、せん定枝と学校給食等の調理残さを利用した、せん定枝のたい肥化事業が始まりました。市内から発生した「せん定枝」を総合リサイクルセンター内で「たい肥」にして、農家の方をはじめとした市民のみなさんに利用してもらい、生産した農産物がみなさんの食卓という、市内循環型のリサイクルを目指しています。



○ たい肥の素ができるまで

せん定枝を砕いて積んでおけばたい肥になる・・・わけではありません。せん定枝と学校給食等から出る残さなどを発酵させたものを混ぜ、数ヶ月間熟成させると「たい肥」になります。

ただ、総合リサイクルセンターの敷地だけでは、これらの工程を行うのに十分な広さが確保できません。そのため、熟成が順調に進み始める2週間から1ヶ月頃から「たい肥の素」として配布を始め、その後の熟成は利用される方をお願いしています。

○ 配布・料金について

申込みは必要ありません。容器等をご用意のうえ、直接お越しください。また、「たい肥の素」は、重量にかかわらず市民のみなさん（在勤含む）には無料で配布しています。

（市外の方は1kgあたり2円かかります。）



（写真：たい肥の素）

◎ 完熟たい肥（イベント限定）

ごみ対策課では、ごみ減量啓発活動の一環として参加する各種イベントの際に、「完熟たい肥」を配布しています。この完熟たい肥は、既に熟成の済んだもので、土と混ぜてすぐお使いいただけます。

※配布は楽市、健康フェアなど一部のイベントに限ります。

福島第一原子力発電所の事故により、稲わらから高濃度の放射性セシウムが検出された地域があったことを受け、現在たい肥の素については、配布前に放射性物質の測定を行うことになっています。そのため、測定の時期によっては在庫に限りがありますので、ご希望の方は、事前に在庫の確認をしてからお越しください。

在庫確認（お問い合わせ）は、ごみ対策課（☎531-5518）まで。